

#22



資産形成の学校

新NISA制度

失敗しない 資産配分の考え方

目次 失敗しない資産配分の考え方

① 資産配分の復習

② 手間のかかる方法はうまくいかない

③ 他の投資をするならコア・サテライト戦略

④ 具体的な資産配分の事例紹介

⑤ 本日のまとめ

⑥ 質問事項の回答

目次 失敗しない資産配分の考え方

① 資産配分の復習

② 手間のかかる方法はうまくいかない

③ 他の投資をするならコア・サテライト戦略

④ 具体的な資産配分の事例紹介

⑤ 本日のまとめ

⑥ 質問事項の回答

① 資産配分の復習～前回（第21回）

基本的には

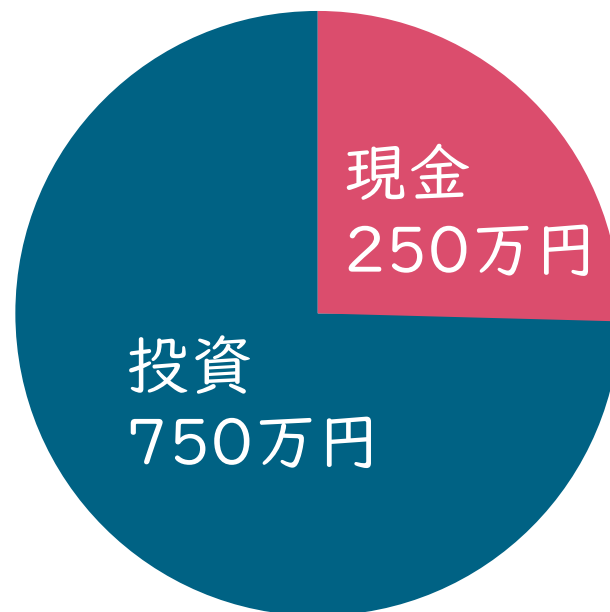
インデックス投資の株式100%で、現金のみコントロール

暴落で50%の下落があったとしても、
5年間損切することなく、投資を継続することができる現金を保有した状態であれば、
他の資産はインデックスの株式100%の投資で考える。

例) 資産1000万円で下記の条件の場合

◇ 投資:eMAXIS Slim 全世界株式
(オール・カントリー)の100%

◇ 現金:生活防衛資金(生活費の6か月分)
+直近5年以内のお金が250万円



リスク許容度
に合わせて、
現金の金額を
コントロールする

目次 失敗しない資産配分の考え方

① 資産配分の復習

② 手間のかかる方法はうまくいかない

③ 他の投資をするならコア・サテライト戦略

④ 具体的な資産配分の事例紹介

⑤ 本日のまとめ

⑥ 質問事項の回答

② 手間のかかる方法はうまくいかない

手間をかけると非合理的な行動をする可能性が高まるから

例) 色々な配分を組み合わせた場合

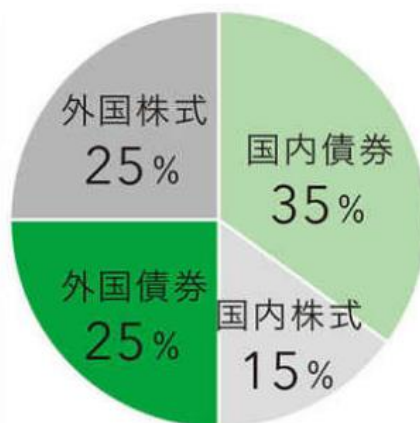
子育て世帯 40代・50代

組み合わせのポイント



想定利回り
年2~5%

- ✓ 教育資金などのまとまった出費の予定があるなら株式は少なめに
- ✓ 預貯金で教育資金を十分に準備できるなら株式をもっと増やしてもいい
- ✓ 子どもが巣立ったら株式を多めに



◇ 短期の利益を追い求めてしまう

例)

・「みんなが購入しているおすすめ」と言われるものは、不安で全部購入してしまう。

・「今、金への投資が いいらしい」といった声に踊らされてしまう。



まだよくわからないなら、
色々なものに手をださない

② 手間のかかる方法はうまくいかない

投資では合理的な行動をとることができない、と実感しておくこと

◇ホームバイアス:身近なものなら安心だと思ってしまう心理のこと

例) 応援したいから、地元の企業の株を購入する

➡資産形成とは全く別のお話。よく日本株をなんとなく購入する人は割合が高い

◇プロスペクト理論: ①利益が出ていると早く利益確定したくなるが、損失が出ていると損失を回避したくなる。②得するよりも損する方が精神的なダメージが大きい。

例) 利益が出ているとき

➡「さらに上がるかもしれないが、下がって利益がなくなるのが嫌なので、売却してしまう。」

例) 損失が出ているとき

➡「きっとここまで下がったら、次は上がるだろう」と考えて損切できない状態になること。

目次 失敗しない資産配分の考え方

① 資産配分の復習

② 手間のかかる方法はうまくいかない

③ 他の投資をするならコア・サテライト戦略

④ 具体的な資産配分の事例紹介

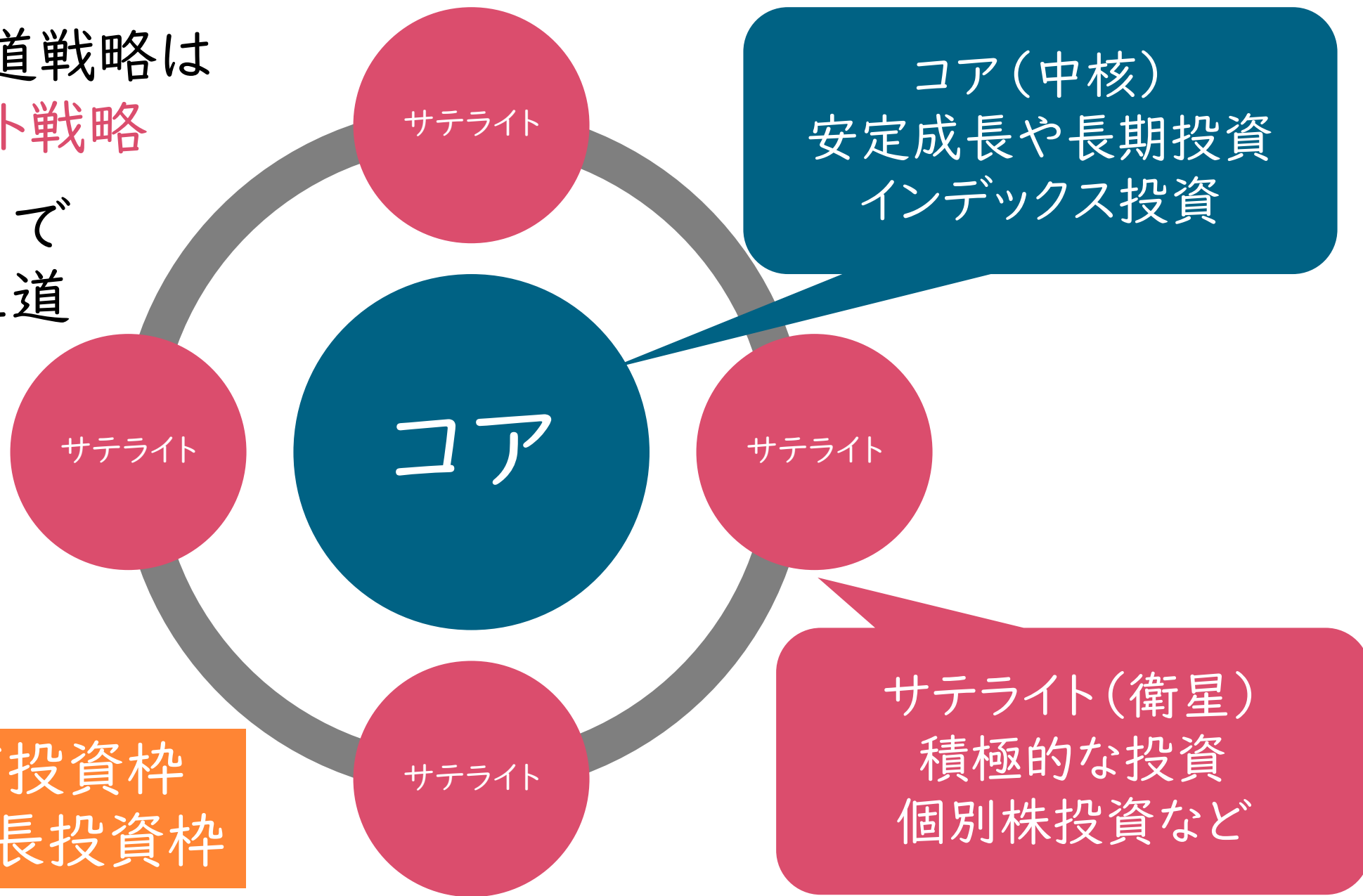
⑤ 本日のまとめ

⑥ 質問事項の回答

③ 他の投資をするならコア・サテライト戦略

新NISAの王道戦略は
コア・サテライト戦略

『安定+攻め』で
資産形成が王道



コア: つみたて投資枠
サテライト: 成長投資枠

③ 他の投資をするならコア・サテライト戦略

コアで将来のお金の土台を作り、サテライトでよりリスクを取る（ステップ5）

例) 資産1000万円で下記の条件の場合

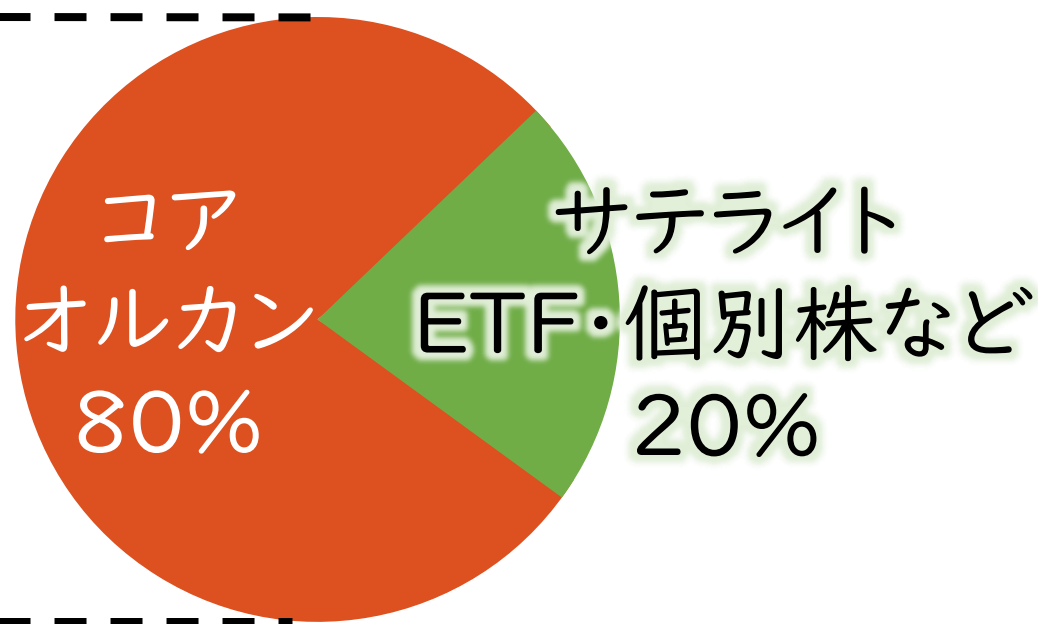
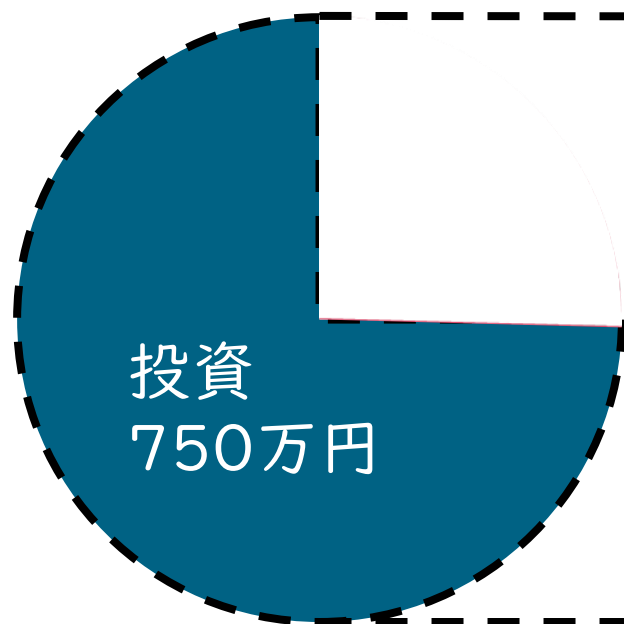
◇ 投資: オルカン100%

◇ 現金: 生活費の6か月分+直近5年以内

例) 750万円の内訳

・コア: オルカン80%: 600万円

・サテライト20%: 150万円



基本はお金の不安を消す土台を作ってから、サテライト投資

知識0から誰でもできる 完全ロードマップ

夢

Step5 副業・投資

Step4 毎日楽しむ

Step3 つみたてNISA満額

Step2 生活費の6か月分の確保

Step1 つみたてNISAを開始

3ステップで

お金の不安を消す

参考 3つの王道投資～第9回目参照～

	インデックス投資	高配当株投資(ETF)	個別株投資
メリット	①20年以上の長期投資であれば、非常に高い確率で元本割れしない ②プロにも勝てる再現性の高い投資 ③投資の鉄則である、長期・分散・積立が誰でも月100円からできる ④圧倒的に低コストで運用できる	①分散投資でリスクを抑えながら、ほったらかしで安定した配当が受け取れる ②配当は年間4回もらえるのが一般的なので、予測がしやすく生活の保険になる ③増配を考えると、将来的に高い配当利回りが期待できる	①大きな利益を得られる可能性がある ②運用を自分で選んでコントロールできるので、楽しく投資ができる ③売却益・配当・株主優待の3つの利益を得ることができる ④企業や業界に詳しくなれる
デメリット	①資産が増えるのに時間がかかる ②市場平均を狙う投資なので、大きな利益を得ていくことはできない ③大きな資産を作るには入金力が必要 ④売買を繰り返さず、淡々と購入するだけなので、退屈と感じる人もいる ⑤似たり寄ったりの投資成績になる	①配当を出して利益を再投資していないので成長性があまりない企業が多いこと(値上がりを期待できない) ②配当を受け取るときに課税されるので資産増加は遅い ③配当金の高さはリスクの高さと連動しているので、減額や下落もある ④購入するには為替手数料がかかる	①勝ち続けるのはプロでも難しい ②分散不足でリスクが大きくなる。分散する場合には金額が必要になる ③ポートフォリオの管理に手間がかかる ④損をする可能性もあるため、将来のお金を備える土台としては、向かない ⑤リスクも大きいいため大損失もありえる

目次 失敗しない資産配分の考え方

① 資産配分の復習

② 手間のかかる方法はうまくいかない

③ 他の投資をするならコア・サテライト戦略

④ 具体的な資産配分の事例紹介

⑤ 本日のまとめ

⑥ 質問事項の回答

事例①

④ 具体的な資産配分の事例紹介～事例①～

50歳、余裕資金なし、投資経験なしの男性。65歳時点で2000万円が目標

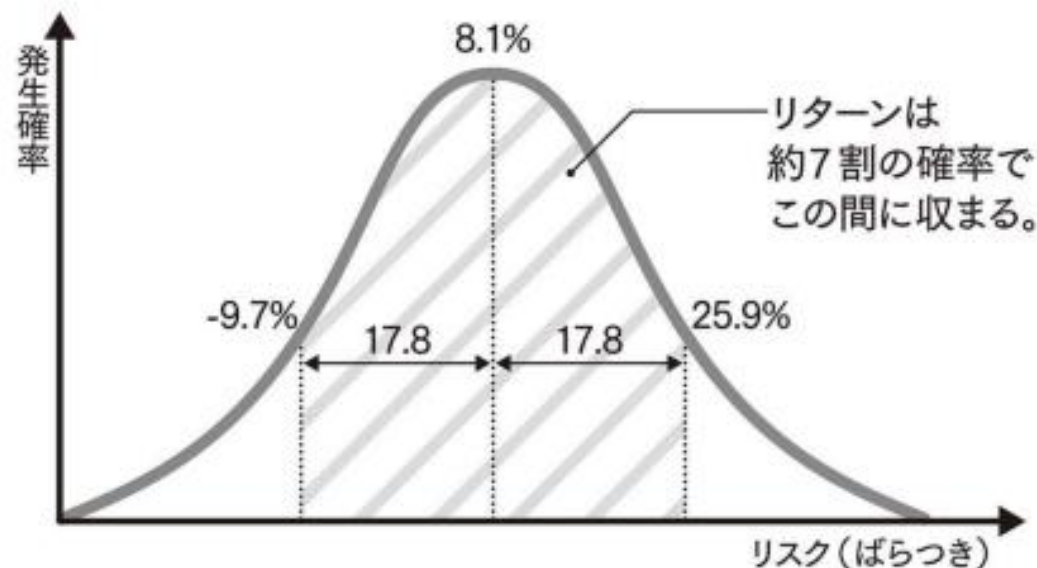
プラン：全世界株式に毎月5万円の積立投資

現在の状況)

- ・妻(パート)、高校1年生の子供
- ・預貯金350万円
- ・収入手取り35万円、世帯42万円
- ・生活費毎月28万円
- ・住宅ローン8万円
- ・保険毎月3万円
- ・その他、塾代、固定資産税など

MSCI・ACWI(※オルカンと同じ指数)の
過去30年リターン平均8.1%、リスク17.8%

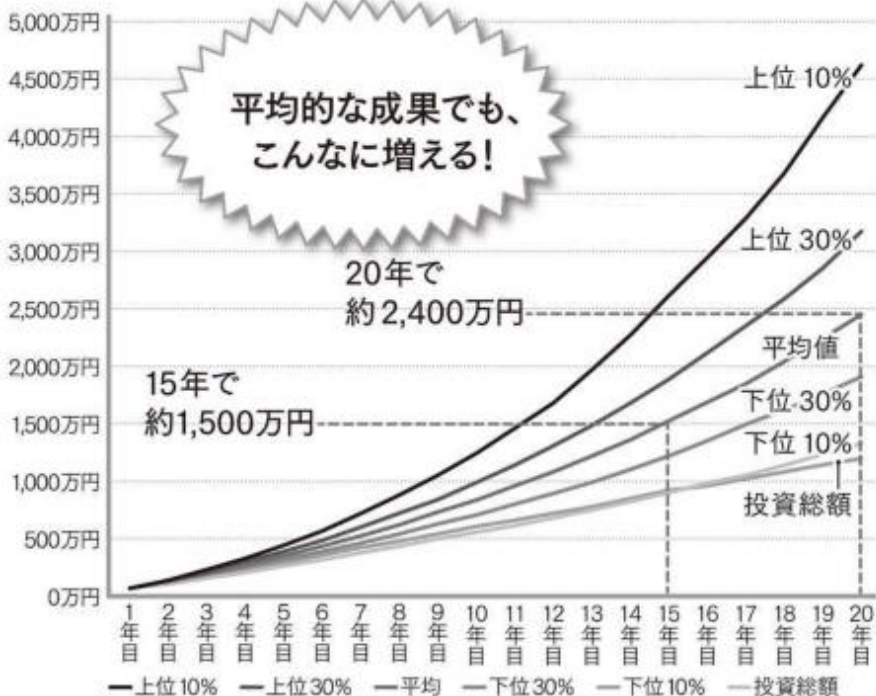
リターンとリスクの関係は？



出典：老後の不安がなくなる50歳からのお金の増やし方

④ 具体的な資産配分の事例紹介～事例①～

50歳、資金ゼロから、
「毎月5万円積み立て投資した」場合



	10 年後 (60 歳)	15 年後 (65 歳)	20 年後 (70 歳)
上位10%	1,239 万円	2,509 万円	4,559 万円
上位30%	978 万円	1,867 万円	3,156 万円
平均値	833 万円	1,506 万円	2,422 万円
下位30%	707 万円	1,224 万円	1,871 万円
下位10%	558 万円	905 万円	1,321 万円
投資総額	600 万円	900 万円	1,200 万円

弊社試算

毎月積立額	?	50000 円
積立期間	?	20 年 0 ヶ月
リターン	?	4 %

計算

クリア

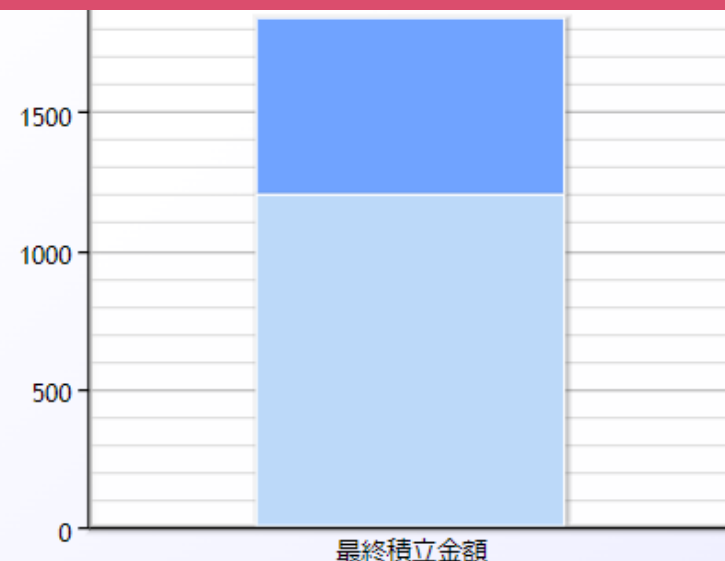
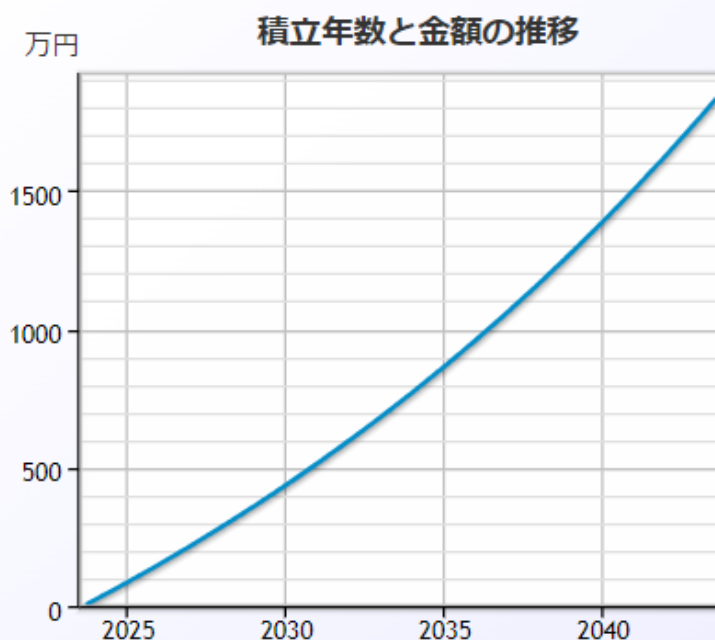
左の条件で積立した場合、
最終積立金額は

18,338,731
円

です。

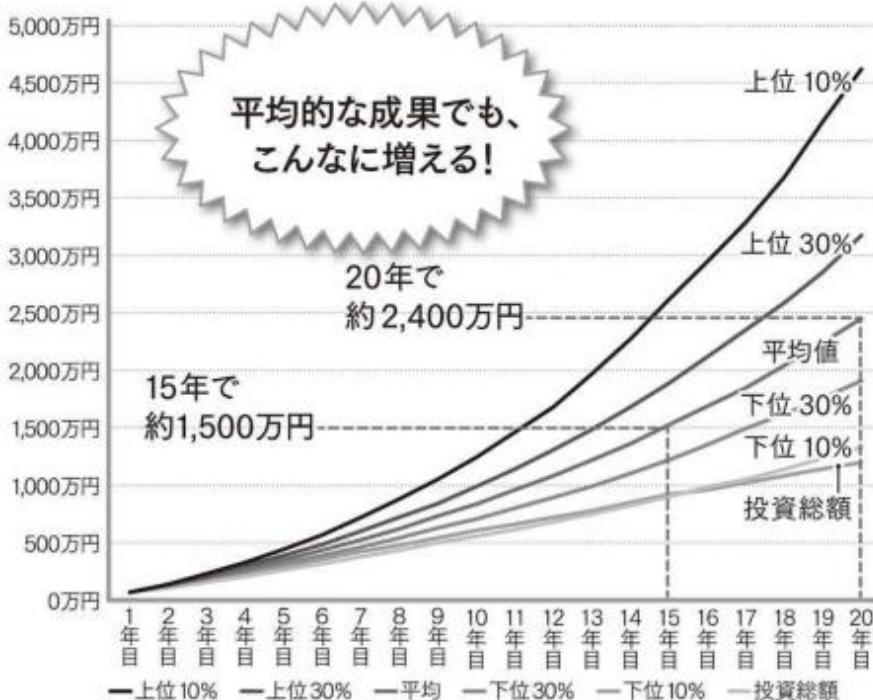
←過去30年の結果を使用

厳しく年間4%利回りで計算
(およそ下位30%のデータ)



④ 具体的な資産配分の事例紹介～事例①～

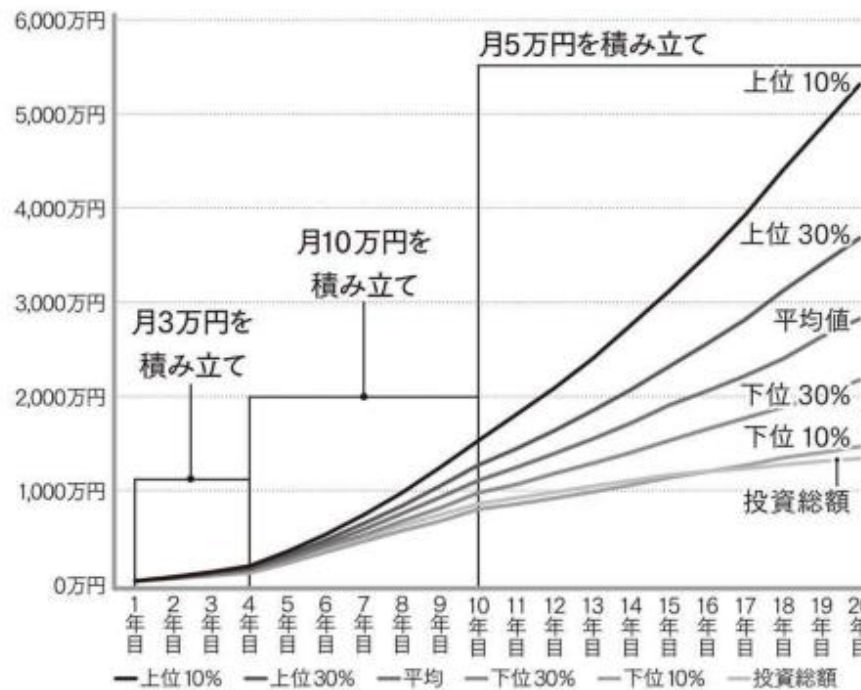
50歳、資金ゼロから、
「毎月5万円積み立て投資した」場合



	10 年後 (60 歳)	15 年後 (65 歳)	20 年後 (70 歳)
上位10%	1,239 万円	2,509 万円	4,559 万円
上位30%	978 万円	1,867 万円	3,156 万円
平均値	833 万円	1,506 万円	2,422 万円
下位30%	707 万円	1,224 万円	1,871 万円
下位10%	558 万円	905 万円	1,321 万円
投資総額	600 万円	900 万円	1,200 万円

弊社試算

出費に応じて、毎月の積み立て金額を
変更した場合



	10 年後 (60 歳)	15 年後 (65 歳)	20 年後 (70 歳)
上位10%	1,535 万円	3,120 万円	5,312 万円
上位30%	1,266 万円	2,315 万円	3,678 万円
平均値	1,113 万円	1,900 万円	2,824 万円
下位30%	976 万円	1,536 万円	2,178 万円
下位10%	804 万円	1,136 万円	1,463 万円
投資総額	864 万円	1,164 万円	1,344 万円

弊社試算

・預貯金350万円と合
わせて15年後に
約2000万円達成

・出費に応じて、
できる範囲で投資を
していくと、さらに増える

・結果があまりよくない
状態でも達成できる



50代からでも
全然遅くない

事例②

④ 具体的な資産配分の事例紹介～事例②～

50歳、余裕資金ありの女性。65歳時点で2000万円が目標

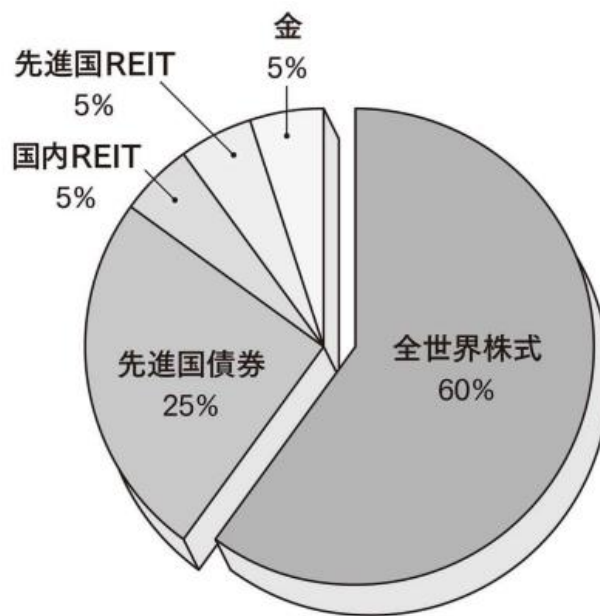
プラン：60%株式、40%は他資産で投資

現在の状況)

- ・夫(会社員)、大学年、中学2年
- ・預貯金650万円
- ・収入手取り23万円、世帯65万円
- ・生活費毎月35万円
- ・家賃13万円
- ・保険毎月5万円
- ・駐車場代月1万円

出典：老後の不安がなくなる
50歳からのお金の増やし方

110-年齢=60&なので、株式60%に。
期待リターン年6.4%、リスク13.4%

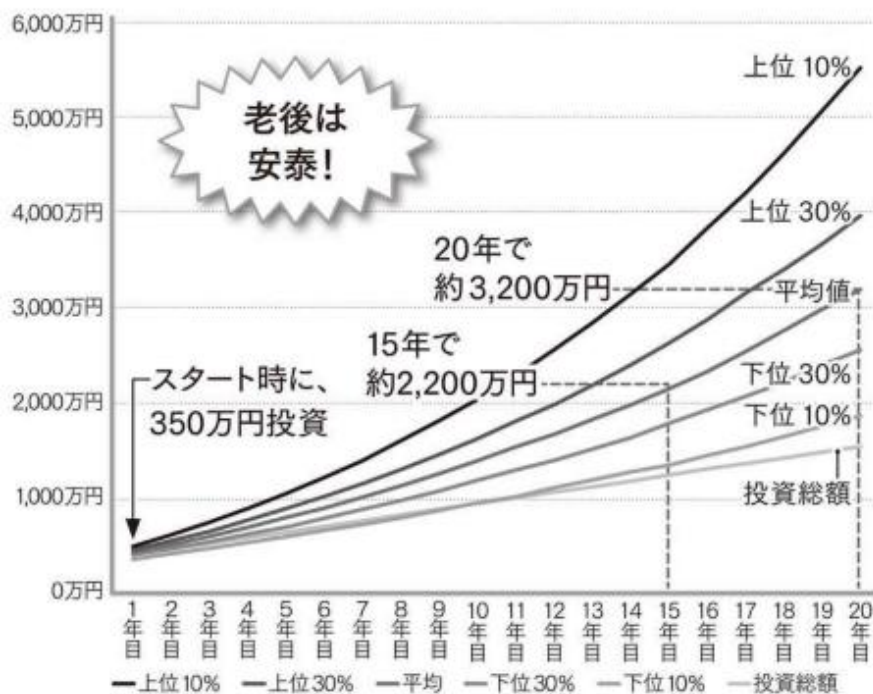


- ・日本の債券：金利低すぎ
- ・新興国、REIT：
リスクとリターンが合わない
- ・金：究極の安全資産

「アセットアロケーション」で
成果の80%が決まる！

④ 具体的な資産配分の事例紹介～事例②～

50歳、「最初の資金350万円＋
毎月5万円積み立て」の場合



◇65歳時点、平均値で2180万円で目標達成

- ・「初期投資＋毎月積立」は着実に資産を増やせる
- ・退職金もあるならさらに安泰の老後に



50代からでも全然遅くない

最初の初期投資ができると、
さらに資産を増やすことができる

	10年後 (60歳)	15年後 (65歳)	20年後 (70歳)
上位10%	2,018 万円	3,439 万円	5,493 万円
上位30%	1,627 万円	2,631 万円	4,022 万円
平均値	1,390 万円	2,180 万円	3,207 万円
下位30%	1,187 万円	1,800 万円	2,556 万円
下位10%	939 万円	1,367 万円	1,892 万円
投資総額	950 万円	1,250 万円	1,550 万円

目次 失敗しない資産配分の考え方

① 資産配分の復習

② 手間のかかる方法はうまくいかない

③ 他の投資をするならコア・サテライト戦略

④ 具体的な資産配分の事例紹介

⑤ 本日のまとめ

⑥ 質問事項の回答

⑤ 本日のまとめ

①基本的な資産配分の考え方

インデックス投資の株式100%で、現金のみコントロール

②短期の利益を求めてしまう人は、

よくわからない状態で、色々な投資に手を出さないこと

③どれだけ精神的に強い人でも

投資では合理的な行動をとれないことがある

④50歳からでも投資をはじめれば、

資産2000万円を貯めて、老後の安心を作ることはできる

目次 失敗しない資産配分の考え方

① 資産配分の復習

② 手間のかかる方法はうまくいかない

③ 他の投資をするならコア・サテライト戦略

④ 具体的な資産配分の事例紹介

⑤ 本日のまとめ

⑥ 質問事項の回答

前回までの質問回答

※別動画で回答。本日は一部を回答します。

いただいた質問

よく、株の保有は、 $100 - \text{年齢}(\%)$ といわれますが、これについてはどのような考え方を持っておくとういでしょうか。



「年齢を重ねていくごと、
株式配分比率を徐々に低下させていく方法」

※私の考えとの違い

株式の比率ではなく、リスク許容度に応じて
現金量を調整する考え方の方が長生きリスクに備えられる。
かつ個人のリスク許容度に合わせてムリなく長期投資を継続できる。

参考 慎重な人向けの資産配分～バートン・マルキール

安心できるように、
慎重な人向けの資産配分
バートン・マルキール

出典：投資の大原則

年齢層	株式の比率	債券の比率
20－30代	75－90%	25－10%
40－50代	65－75	35－25
60代	45－65	55－35
70代	35－50	65－50
80歳以上	20－40	80－60

<ポイント>

- ・資産が減ることに安心できない人向け
- ・損失回避バイアスを考慮した考え方
- ※得よりも損の方が大きく感じる

長期でリターンを
高めるための資産配分
チャールズ・エリス

年齢層	株式の比率	債券の比率
20－30代	100%	0%
40代	85－100	10－0
50代	75－85	25－15
60代	70－80	30－20
70代	40－60	60－40
80歳以上	30－50	70－50

<ポイント>

- ・株式の割合を高めて長期で高リターンを！
- ・暴落があってもむやみに売却しない、
という強い精神力が必要。

質問回答

投資分はたとえ暴落しても、気にしないだけの現金を持ち、心の方もコントロールすることが必要だなと思いました。

インデックス投資100%で、現金のみコントロールという部分において、例えば貯蓄額を答える場合、今後NISAの積立金が増えていった時に、現金のみの貯蓄額なのか、投資分も含めた貯蓄額なのかが気になります。NISA分も含めると暴落の可能性もありますね。殆ど聞かれることなんてないでしょうけどね。

言葉の定義の問題ですね。

貯蓄額は一般的には投資している金額も含みますので、貯蓄額=資産額でよいと思います。

現金のみの貯蓄額(資産額) ➡ 預貯金額

投資のみの貯蓄額(資産額) ➡ 投資金額

質問回答

ふくちゃんのお陰でオルカン一択で何の不安もありません。

悩みは15年先。80歳を目前にして最適なタイミングで売却できるのか、正しい判断ができるのか..NISAをつみたてればこの悩みも積み立てられていく..悩ましいです。

時間が取れず、別枠のQ&Aの動画を観る前にアップデートしております。動画内に解決方法があれば申し訳ありません！

私も80歳で最適なタイミングで売却できるとは思っていません。
なので、1度に売却せず、複数回に分けて売却する方がよいと思います。

80歳のときの認知機能をあてにはできないので、今から出口を考えておいた方がよいです。
出口部分を少しずつ明確にしていきたいところですね。

最後に、知識定着のためアウトプットを提出してください

アウトプットは記憶定着&出席確認のために、必ず提出してください
当日参加できない方は、勉強会後の2週間後までに動画を見てアウトプット

A	B	C	D	E
お名前	2023/07/03 (当日)	2023/07/03 (後日)	7月19日 (当日)	7月19日 (後日)
Aya	☐	☐	☐	☐
EMI	☐	☐	☐	☐
harue	☐	☐	☐	☐
Hitomi	☐	☐	☐	☐
K	☐	☐	☐	☐
kaori	☐	☐	☐	☐
LUCY	☐	☐	☐	☐
manzana	☐	☐	☐	☐
masashi	☐	☐	☐	☐
Mayu	☐	☐	☐	☐
mi	☐	☐	☐	☐
RYOKO	☐	☐	☐	☐
Yoko	☐	☐	☐	☐
あきこ	☐	☐	☐	☐
あべ	☐	☐	☐	☐
おざわ	☐	☐	☐	☐
かおり	☐	☐	☐	☐
がも	☐	☐	☐	☐
きみ	☐	☐	☐	☐
さとうみほ	☐	☐	☐	☐
じゅん	☐	☐	☐	☐
ちい	☐	☐	☐	☐
ちさ	☐	☐	☐	☐
ちょび	☐	☐	☐	☐

7月の勉強会のアウトプットシート

知識を定着させるために、必ずアウトプットしてください。※アウトプットしていない場合、出席にはカウントできません。

このフォームでは、すべての回答者からのメールが自動的に収集されます。 [設定を変更](#)

【Q1】LINEのお名前を記入してください。 *

記述式テキスト (短文回答)

【Q2】勉強会の参加方法を記入してください。 *

- ☐ (当日参加) 7月3日 (月)
- ☐ (後日動画) 7月3日 (月)
- ☐ (当日参加) 7月19日 (水)
- ☐ (後日動画) 7月19日 (水)

10月のスケジュール

10月のテーマ

『新NISAを活用して安心するためには?』

- ・結局、いくら積立をしたら「安心」できるのか、安心って何なのか。
- ・新NISAで老後資金を貯めるためにはいくら必要なのか。※変更あり

10月の予定

- ・10月2日(月)21時～
- ・10月18日(水)21時～

本日のアウトプット期限は、9月30日(土)まで

ご質問タイム

本日の説明の中で
わからなかった点がありますか？

質問などご自由にお願ひします。

※直接聞けなかった方は、
アウトプットシートにご記入ください。